

平成27年1月19日

各 位

海上保安庁海洋情報部

平成26年度海洋情報部研究成果発表会の開催について

拝啓 大寒の候、皆さまにおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

海上保安庁海洋情報部では、我が国の産業や国民生活を支える海上交通の安全確保、海洋に起因する災害への対応、海洋環境の保全、海洋権益の保全、さらには海洋情報の円滑な流通を図るため、最先端の調査・研究・開発を行っており、その成果を分かりやすくご紹介するため、毎年「研究成果発表会」を開催しています。

つきましては、「平成26年度海洋情報部研究成果発表会」を下記のとおり開催いたしますので、お知らせいたします。今年度は「沖縄海域調査研究の最前線」をメインテーマとして、高井研氏（海洋研究開発機構 深海・地殻内生物圏研究分野 分野長）から、沖縄トラフの熱水活動域に関する基調講演を頂いたのち、沖縄トラフにおける最新の調査・研究成果を紹介いたします。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

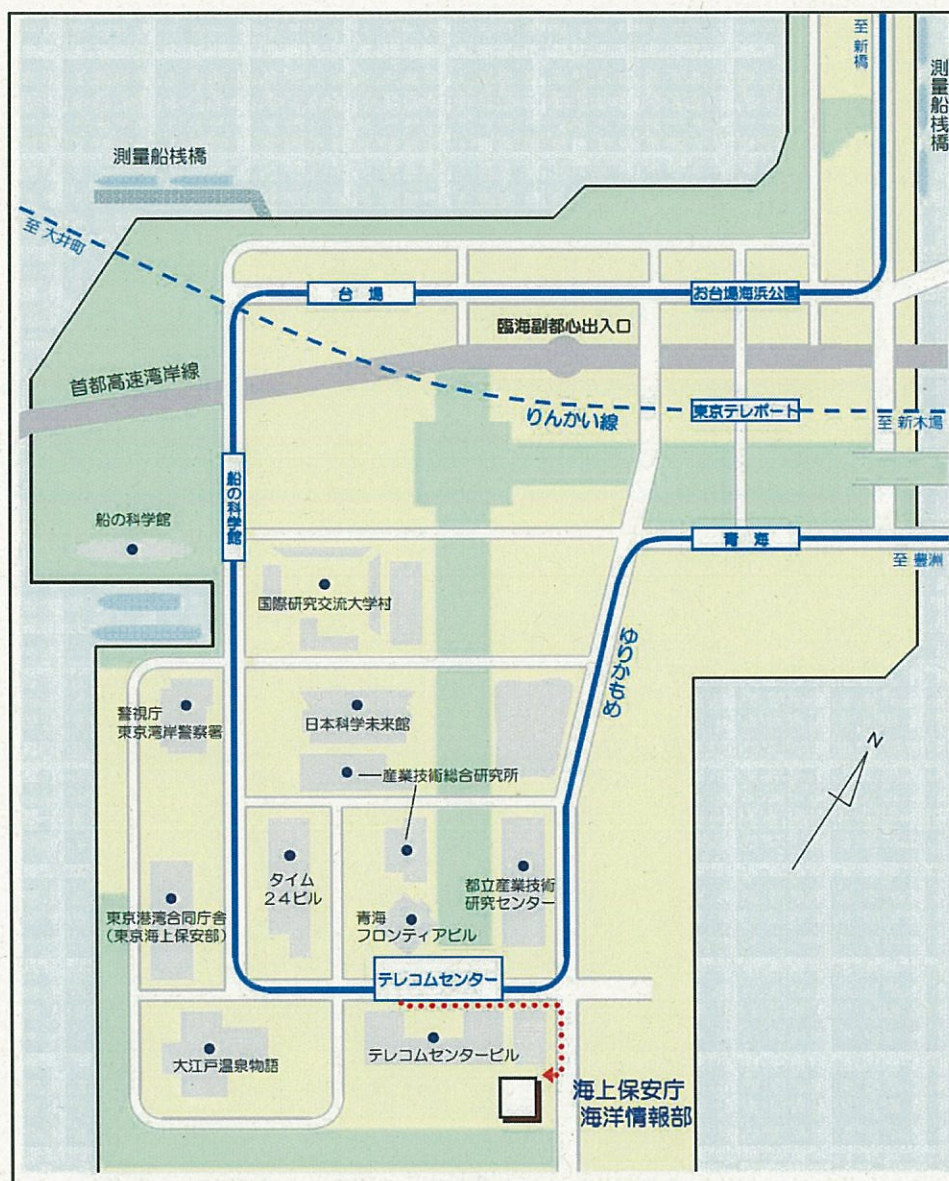
記

1. 開催日時
平成27年2月13日（金）13：10～18：00（12：50開場）
2. 会 場（別紙1参照）
海上保安庁海洋情報部 大会議室（10階）
東京都江東区青海2-5-18
新交通ゆりかもめ線「テレコムセンター」駅下車 徒歩5分
3. プログラム
同封の「平成26年度海洋情報部研究成果発表会プログラム」（別紙2）をご参照ください。
4. 参加費等
入場無料です。事前登録の必要はありません。
5. お問い合わせ先
海洋情報部 技術・国際課（TEL:03-5500-7122）

「平成 2 6 年度海洋情報部研究成果発表会」会場

海上保安庁海洋情報部 大会議室（1 0 階）

- ・ 東京都江東区青海 2 - 5 - 1 8
- ・ 新交通ゆりかもめ線「テレコムセンター」駅下車 徒歩 5 分



平成 26 年度海洋情報部研究成果発表会プログラム

日 時:平成 27 年 2 月 13 日(金) 13:10-18:00(12:50 開場)

会 場:海上保安庁海洋情報部 大会議室(10 階)

主 催:海上保安庁海洋情報部

共 催:一般財団法人日本水路協会

開会挨拶

13:10-13:15 海洋情報部長 春日茂

口頭発表

セッション 1:沖縄海域調査研究の最前線

- (1) 13:15-14:00 基調講演 そろそろ「沖縄トラフ最大の熱水活動域」の暫定王者ではなく統一王者を決めようか?

海洋研究開発機構 深海・地殻内生物圏研究分野 高井研

14:00-14:10 休憩

- (2) 14:10-14:30 日本最大級の熱水チムニー群の発見:久米島沖 AUV 調査
海洋調査課 大陸棚調査室 南宏樹

- (3) 14:30-14:50 久米島西方沖海域で発見された海底火山群の岩石学的特徴
産業技術総合研究所 針金由美子

- (4) 14:50-15:10 沖縄トラフの海底地形と海底地形名
技術・国際課 海洋研究室 小原泰彦

- (5) 15:10-15:30 精密海底地形データとマルチチャンネル反射法探査記録から見る南部沖縄トラフ
海洋調査課 大陸棚調査室 及川光弘

15:30-15:50 休憩

セッション 2:一般テーマ

- (6) 15:50-16:05 成長を続ける西之島
海洋調査課 海洋防災調査室 小野智三

- (7) 16:05-16:20 衛星画像を用いた浅海水深情報
技術・国際課 海洋研究室 松本良浩

- (8) 16:20-16:35 海底地殻変動観測における観測時間と測位精度の考察
技術・国際課 地震調査官 石川直史

- (9) 16:35-16:50 来島海峡における潮流の観測とシミュレーション
環境調査課 森岡裕詞

- (10) 16:50-17:05 水路技術奨励賞ポスター紹介

(11) 17:05-17:15 一般セッションポスター紹介

閉会挨拶

17:15-17:20 技術・国際課長 長屋好治

ポスター(水路技術奨励賞)(コアタイム: 17:20-18:00)

水路技術奨励賞 数件

ポスター(一般)(コアタイム: 17:20-18:00)

- (1) 地震波速度構造から見る南部沖縄トラフ
技術・国際課 海洋研究室 西澤あずさ
- (2) AUV「ごんどう」による海底地形調査データの処理
海洋調査課 大陸棚調査室 瀬尾徳常
- (3) 写真とビデオで見る西之島の成長
技術・国際課 火山調査官 矢島広樹
- (4) 海底地殻変動観測の高頻度化と多点展開に向けたマルチ測距手法に関する研究
海洋調査課 海洋防災調査室 横田裕輔
- (5) GPS-A 観測によって測定された海底地殻変動(2014 年までの成果)
技術・国際課 海洋研究室 渡邊俊一
- (6) 海底基準点における音速プロファイルの時間依存性
海洋調査課 海洋防災調査室 内田徹
- (7) 海底地殻変動観測におけるアレイ形状固定の効果についての考察
海洋調査課 海洋防災調査室 秋山裕平
- (8) 清水港 10m メッシュ津波シミュレーション計算結果の 50m メッシュとの比較
海洋調査課 海洋防災調査室 土屋主税
- (9) 御前崎港への津波伝播特性と津波防災情報図の主方向決定
海洋調査課 海洋防災調査室 土屋主税
- (10) 伊豆・小笠原海溝周辺の 3D 海底地形
海洋調査課 大陸棚調査室 堀内大嗣 ほか
- (11) 地殻構造調査結果を反映させた3次元重力モデルによる西太平洋海域の地殻の密度構造
海洋調査課 大陸棚調査室 藤岡ゆかり
- (12) 新型航空レーザー測深機「GZML」の紹介
海洋調査課 河合晃司
- (13) 米国における離岸流警報発出にかかる研究状況
海洋情報課 荻籠泰彦

- (14) 海洋台帳を利用した水中文化遺産情報管理の試み
技術・国際課 国際業務室 馬場典夫 ほか

以上